



# 藤 井 寺 市 第三期保健事業実施計画（データヘルス計画） 第四期特定健康診査等実施計画

2024（R6）年度～2029（R11）年度

概要版

## 1 データヘルス計画とは

データヘルス計画とは、特定健診や医療・介護情報などから、被保険者の健康課題を分析し、P（計画）D（実施）C（評価）A（改善）サイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を実施するための計画です。

データヘルス計画では、特定健診・特定保健指導の実施状況の評価を行うことと特定健康診査等実施計画の計画期間がR5年度で終了することから、データヘルス計画と特定健康診査等実施計画の両計画を合わせて、一体的に策定しました。

## 2 第二期データヘルス計画【2018(H30)年度～2023(R5)年度】の目的と目標

健康寿命を延伸することができれば、自立した生活を送る期間が長くなり、QOL（生活の質）の向上につながります。

また、要介護（要支援）状態に陥ることを予防できれば、医療費の適正化につながることから、第二期計画では「健康寿命の延伸」、「QOLの向上」、「医療費の適正化」を計画の目的としていました。

### ～ 計画の目的 ～

健康寿命の  
延伸

QOL(生活の質)  
の向上

医療費の  
適正化

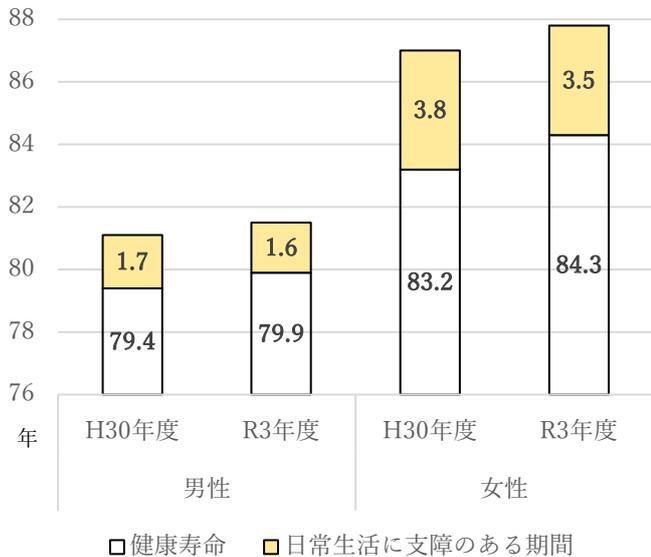
### 【中長期的な目標】

計画の目的を達成するための目標疾患である  
脳血管疾患、虚血性心疾患、慢性腎不全の減少

### 【短期的な目標】

中長期的な目標を達成するための目標疾患である  
メタボリックシンドローム、高血圧、糖尿病、脂質異常症の減少

### 第二期計画の期間における健康寿命



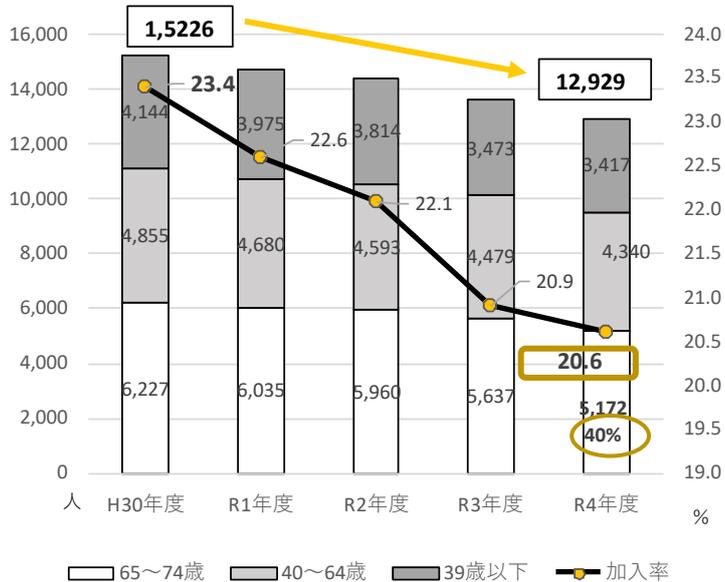
#### 【第二期計画の期間における健康寿命】

- 男性は H30 年度の 79.4 年から R3 年度は 79.9 年に、女性は 83.2 年から 84.3 年に健康寿命は延伸
- 男性は H30 年度の 1.7 年から R3 年度は 1.6 年に、女性は 3.8 年から 3.5 年に日常生活に支障のある期間は短縮

R3 年度の健康寿命は、  
H30 年度より男性で 0.5 年、  
女性で 1.1 年長くなったね  
日常生活に支障のある期間は  
男性で 0.1 年、女性で 0.3 年  
短くなったね



### 市国民健康保険の被保険者数・加入率・総医療費・一人あたり医療費の推移

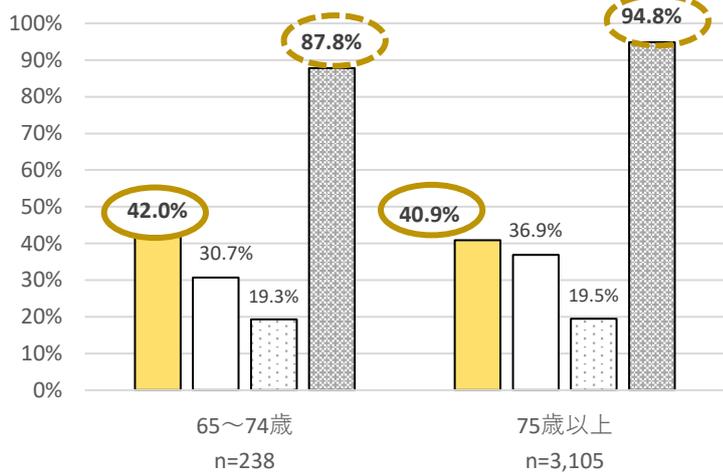


- 国保加入率は 20.6%
- 加入率及び被保険者数はいずれも年々減少
- 年齢構成では 65~74 歳が 40%を占める
- 被保険者数の減少に伴い、総医療費は減少
- 一人あたり医療費は増加

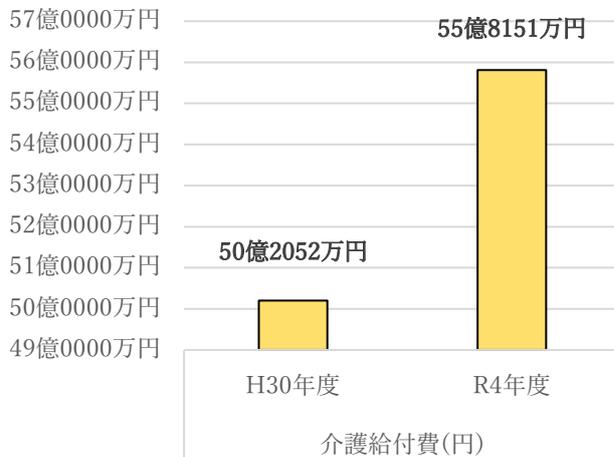
被保険者数が減って、  
総医療費は  
減っている一方で  
一人あたり医療費は  
増えているんやね



	H30年度	R4年度		
		藤井寺市	府	国
総医療費	50億5,713万円	47億2,172円 ↓	--	--
一人あたり医療費	332,138円	365,203円 ↑	329,982円	321,633円



■脳卒中 □虚血性心疾患 □腎不全 ■高血圧・糖尿病・脂質異常症



【国保・後期高齢者医療(R4 年度)】

- 要支援・要介護認定を受けている方には、約 4 割に脳卒中(脳血管疾患)のレセプトがある
- 要支援・要介護認定を受けている方は年代に関わらず、約 9 割に高血圧・糖尿病・脂質異常症のいずれかのレセプトがある

【市全体】

- 介護給付費は、H30 年度の約 50 億円から、R4 年度は約 55 億円に増加

要介護(要支援)認定者の人数も、一人あたり給付費も増えてるんやって

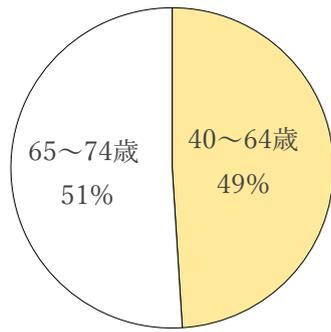


【国保・40～74 歳】

- 脳血管疾患、虚血性心疾患の患者割合は減少しているものの、人工透析の患者割合はやや増加

人工透析の方の 50.9%は、糖尿病性腎症やねんで糖尿病性腎症の重症化予防が大事やね





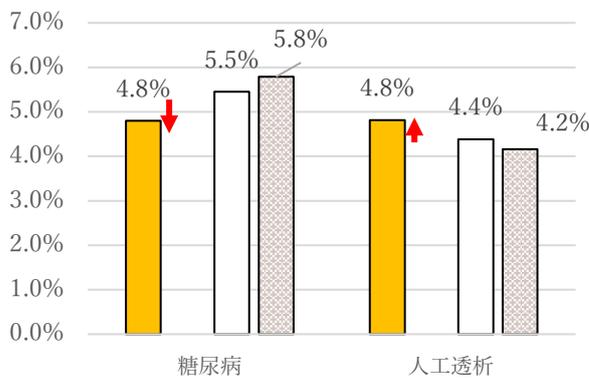
【国保・40~74歳(R4年度)】

■人工透析の方の約半数が  
40~64歳

40~64歳の人工透析が  
H30年度の1.3倍  
(23人→30人)  
に増えているなあ  
予防をしていくことが



いかに大切かを伝えていかなあかなあ



■藤井寺市  
総医療費47億2,172万円

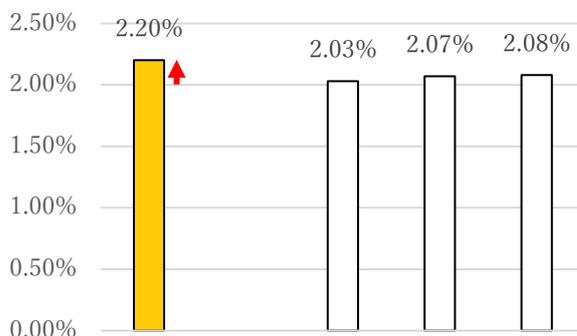
【国保(R4年度)】

■糖尿病の総医療費に占める割合は、  
同規模や国と比べてやや低い一方で、  
人工透析の割合が同規模や国よりやや  
高い

参考：府も本市と同じ傾向

糖尿病の適切な治療を

受けないままに、  
人工透析へと重症化し  
ている可能性があるか  
もしれない・・・



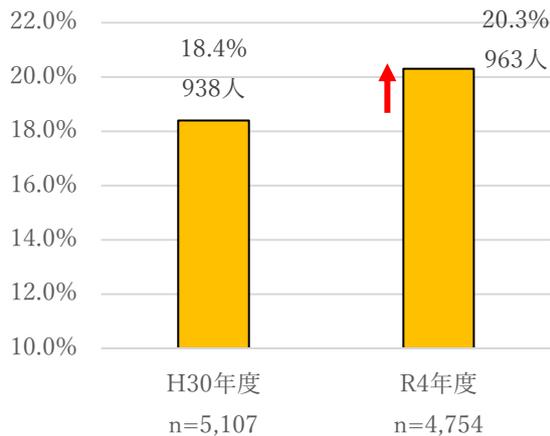
藤井寺市  
総医療費47億2,172万円

【国保(R4年度)】

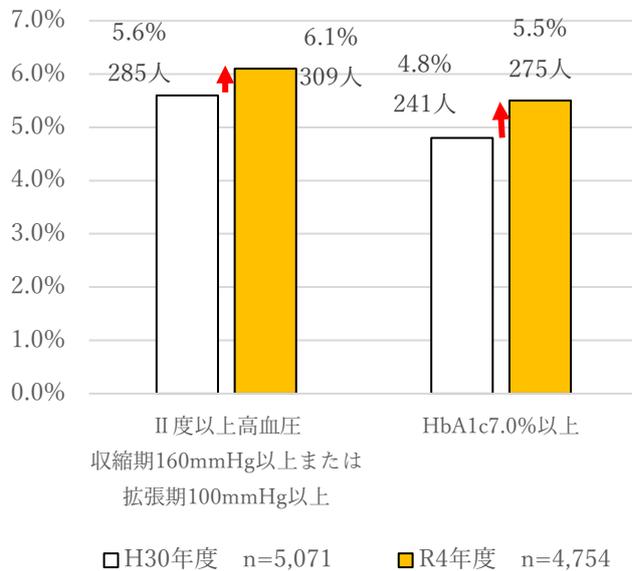
■脳血管疾患の患者数は減少して  
いるものの、脳血管疾患の総医療  
費に占める割合は、府・国・同規模  
と比べてやや高い

より医療が必要な状態  
での発症や再発が増え  
ている可能性があるか  
もしれない・・・

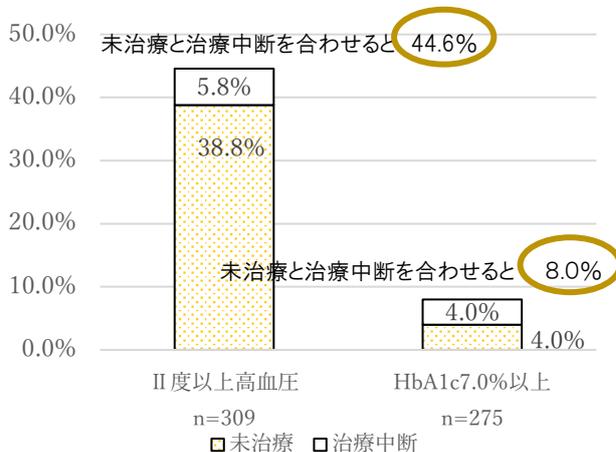




※法定報告ではなく、全受診者(本人提供データを含む)



【健診で高かった方の未治療・治療中断者割合】



【健診(メタボリックシンドローム)】

■メタボリックシンドロームの該当者の割合は増加

メタボリックシンドロームは内臓脂肪の蓄積に加え、心疾患や脳血管疾患などの循環器疾患を発症させる危険因子が、重複した病態やねんて



【健診(血圧・HbA1cの高い方の状況)】

■血圧、HbA1cの高い方が増加

■健診で血圧・HbA1cの高かった方の内、未治療であったり、治療を中断している方が血圧高値で約4割、血糖高値で1割弱いる

治療放置・中断されている

理由は、一人ひとり違うことを

を察しながら、

適切に治療を受けて

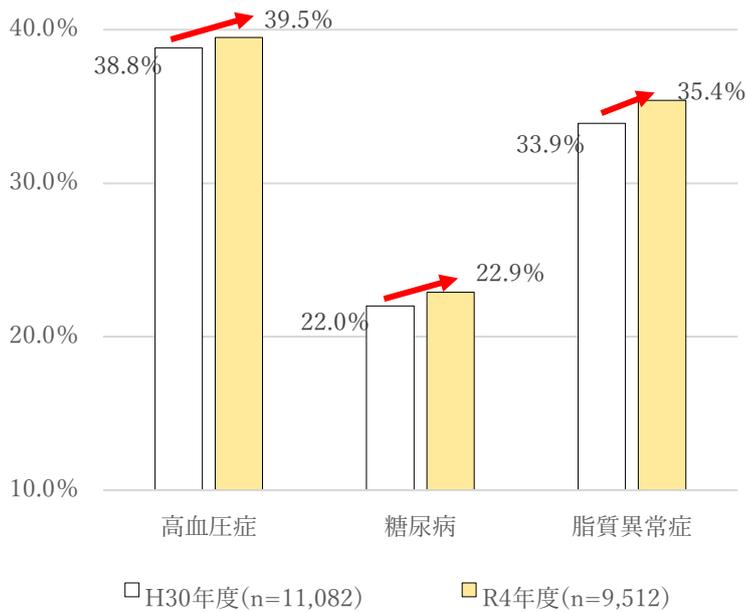
いただけるよう、生活習慣病

のリスクを丁寧に

伝えながら受診勧奨をする

必要があるなあ





【40歳以上の国保の方(被保険者全体)の治療者割合の変化】

■高血圧・糖尿病・脂質異常症ともに治療者の割合が増加

生活習慣病との付き合いは

長くなることが多いから

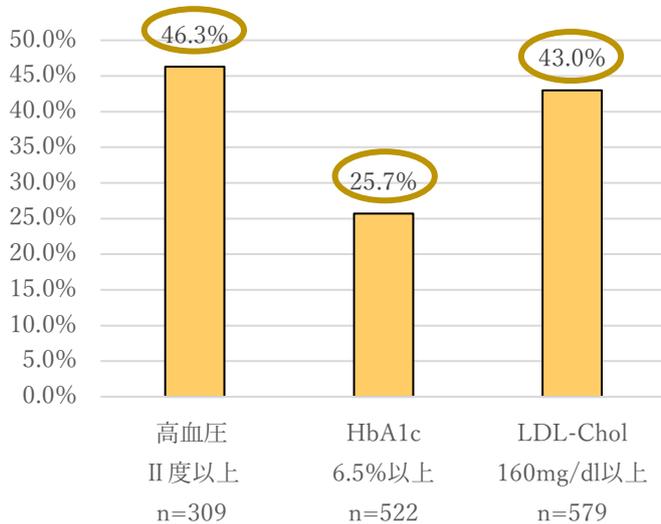
かかりつけ医を

持つことは

ほんまにすごく大切やね



【R3年度に血圧・血糖・血清脂質が高かった方のR4年度の検査結果の改善割合】



■2年連続で健診を継続受診した方では、血圧が高かった方の5割弱、血糖が高かった方の3割弱、LDLコレステロールが高かった方の約4割の方の翌年度の検査結果が改善

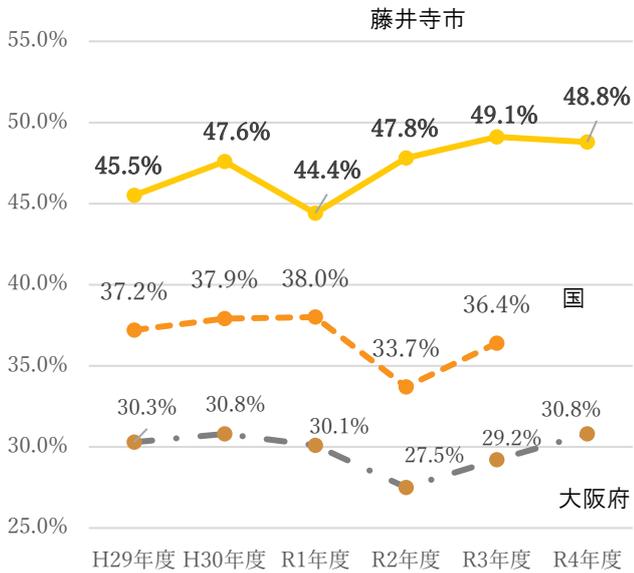
健診は継続して受診し、

検査結果の変化を

確認することが

大事やね。





【特定健診受診率】

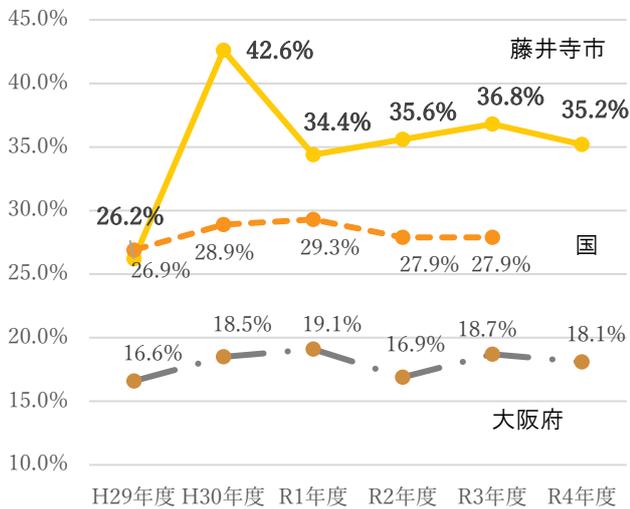
■国・府の平均より高く、R4 年度では府平均より18pt高く、府内 43 市町村中 2 位

★R4 年度

- 1 位 豊能町 49.2%
- 2 位 藤井寺市 48.8%
- 3 位 吹田市 43.6%

★R3 年度

- 1 位 藤井寺市 49.1%
- 2 位 豊能町 47.3%
- 3 位 吹田市 42.8%



【特定保健指導実施率】

■国・府の平均より高く、R4 年度では府平均より約 17pt高く、府内 43 市町村中 10 位

必要な方にもっと利用して

いただけるよう、  
 利用して下さった方が、  
 また必要になった時に、  
 利用したいと思っただけ  
 ように、実施方法や内容を考える  
 必要があるなあ



## 第二期計画の目的を承継

## 「健康寿命の延伸」・「QOLの向上」・「医療費の適正化」

【中長期的な目標】 脳血管疾患、虚血性心疾患、慢性腎不全の減少

【短期的な目標】 メタボリックシンドローム、高血圧、糖尿病、脂質異常症の減少

## 保健事業の方向性

■生活習慣病は自覚症状がないため、まずは健診を受けていただくよう、健診受診率の向上を目指します

■生活習慣改善の重要性を認識し、健康の維持・増進に取り組んでいただけるよう、普及・啓発を図るとともに、個人の健康状態や生活環境に応じた健康への取組をきめ細やかにサポートします

■治療を放置・中断している方に保健師などの医療専門職が、現在の体の状態や将来のリスクについて、分かりやすく丁寧に説明し、受療への働きかけを行います

保健事業の方向性に沿って、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチの両輪で取り組みます。

## 1. ポピュレーションアプローチ

生活習慣病の重症化により、医療や介護(支援)が必要となっている本市の実態や、その背景にある生活習慣や社会環境等について、広報紙のほか、教室や訪問・面談など保健事業の機会をとらえて情報提供し、生活習慣病の発症・重症化予防の重要性を認識し、健康の維持・増進に取り組んでいただけるよう、普及・啓発を図ります。

【実施時期】 通年

## 2. ハイリスクアプローチ

生活習慣病は自覚症状がないため、健診の受診率の向上を図り、血糖、血圧、脂質等の検査結果の改善に取り組めます。

健診の結果、医療受診が必要な方には、適切な受診への働きかけを行う受診勧奨を、治療中の方には、医療機関と連携し、重症化予防のための保健指導を行うなど、個別の状態に応じたサポートを行い、生活習慣病の重症化予防に取り組めます。

【実施方法】 訪問・面談・電話

【実施時期】 健診結果が届き次第、対象基準を決定、選定し順次実施

第四期特定健康診査等実施計画として、特定健診受診率・特定保健指導実施率の目標値、対象者と実施者数を次の通り設定します。

			2024年度 (R06年度)	2025年度 (R07年度)	2026年度 (R08年度)	2027年度 (R09年度)	2028年度 (R10年度)	2029年度 (R11年度)	
特定健康診査	対象者数【A】	40-64歳	4,304	4,286	4,260	4,235	4,210	4,184	
		65-74歳	4,080	3,941	3,976	4,010	4,045	4,080	
		計	8,384	8,227	8,236	8,245	8,255	8,264	
	受診者数【B】	40-64歳	1,459	1,503	1,576	1,650	1,652	1,725	
		65-74歳	2,733	2,816	2,954	3,091	3,094	3,233	
		計	4,192	4,319	4,530	4,741	4,746	4,958	
特定健康診査目標受診率【B】/【A】			50.0%	52.5%	55.5%	57.5%	57.5%	60.0%	
特定保健指導	動機付け	対象者数【C①】	40-64歳	92	95	100	105	105	109
		出現率	65-74歳	186	191	201	210	210	220
		40-64歳 6.3% 65-74歳 7.2%	計	278	287	301	315	315	329
	実施者数【D①】	40-64歳	37	40	45	52	58	66	
		65-74歳	74	81	90	105	116	132	
		計	111	122	135	157	173	197	
	積極的	対象者数【C②】	40-64歳	98	101	106	111	111	116
		出現率6.7%							
		実施者数【D②】	40-64歳	39	43	48	55	61	69
	特定保健指導対象者数【C①+②】			376	387	406	425	426	445
特定保健指導実施者数【D①+②】			150	165	183	213	234	267	
特定保健指導目標実施率【D①+②】/【C①+②】			40.0%	42.5%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%	



第三期データヘルス計画として、次の通り設定します。

脳血管疾患、虚血性心疾患、慢性腎不全については、年齢とともに脳、心臓、腎臓の3つの臓器の血管も傷んでいきます。高齢化が進展していきますので、医療費そのものを抑えることは難しいため、伸びを抑えることを目標とします。

## 目 標

関連 計画等	達成すべき目的	実績			データの 把握方法 (活用データ)		
		初期値 R 6 (R4)	中間評価 R 8 (R7)	最終評価 R 11 (R10)			
データヘルス計画	中長期目標	脳血管疾患・ 虚血性心疾 患、糖尿病性 腎症による透 析の医療費の 伸びを抑制	脳血管疾患の総医療費に占める割合の維持	2.2%	2.2%	2.2%	KDB システム
			虚血性心疾患の総医療費に占める割合の維持	1.2%	1.2%	1.2%	
			慢性腎不全(透析有)総医療費に占める割合の維持	4.8%	4.8%	4.8%	
			糖尿病性腎症による透析導入者の割合の減少 ※1	50.9%	50.5%	50.0%	
	アウトカム 指標	脳血管疾患、 虚血性心疾 患、糖尿病性 腎症の発症を 予防するため に、高血圧、 脂質異常症、 糖尿病、メタ ボリックシン ドローム等の 対象者を減ら す	★メタボリックシンドローム・予備群の割合の減少	32.4%	32.0%	32.0%	法定報告値
			健診受診者の高血圧者の割合減少 (160/100以上)	6.7%	6.5%	6.0%	藤井寺市 保険年金課
			健診受診者の脂質異常者の割合減少 (LDL160以上)	10.1%	10.0%	10.0%	
			健診受診者の血糖異常者の割合の減少 (HbA1c6.5%以上)	10.4%	10.0%	10.0%	
			★健診受診者のHbA1c8.0%以上の未治療者割合の減少	0.63%	0.60%	0.60%	
	アウトプット	特定健診受診 率、特定保健 指導実施率を 向上し、メタ ボリックシン ドローム該当 者、重症化予 防対象者を減 少	★特定健診受診率60%以上	48.8%	52.5%	57.5%	法定報告値
			★特定保健指導実施率60%以上	35.2%	42.5%	55.0%	
			★特定保健指導による特定保健指導対象者の減少 ※2	25.8%	27.0%	28.0%	
後期高齢者医療の健診の受診率向上 ※3			39.56%	40.0%	40.0%以上	広域連合会ホ ムページ	

★ すべての保険者で設定することが望ましい指標

※1 KDBシステム厚労省様式2-2N012\_糖尿病性腎症は、人工透析患者のうち、基礎疾患に糖尿病の診断のあるものの数

※2 分母のうち今年度は特定保健指導の対象者でなくなったものの数/昨年度の特定保健指導利用者数

※3 大阪府後期高齢者医療広域連合では受診率を小数点以下2桁で公表

【R6年3月発行】

藤井寺市健康福祉部保険年金課  
〒583-8583 大阪府藤井寺市岡1丁目1番1号  
☎072-939-1353 Fax072-939-0399